

平成 29 年 5 月 11 日



各 位

会 社 名 日産東京販売ホールディングス株式会社
 代 表 者 取締役社長 酒 井 信 也
 (コード番号 8291 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 米 澤 領 一
 (TEL. 03 - 5496 - 5203)

連結業績予想と実績値の差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

平成 28 年 11 月 7 日に公表いたしました平成 29 年 3 月期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）の通期の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が発生しましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成 29 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

1. 平成 29 年 3 月期 通期連結業績予想（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

(金額単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	140,000	4,500	4,000	3,500	円 銭 52 78
今回実績値 (B)	149,525	5,029	4,475	3,990	円 銭 60 22
増 減 額 (B-A)	9,525	529	475	490	—
増 減 率 (%)	6.8%	11.8%	11.9%	14.0%	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 28 年 3 月期)	145,807	4,219	3,602	3,392	円 銭 51 14

(修正の理由)

当期は、「デイズ」「デイズルークス」(OEM車)の販売停止などにより苦戦いたしましたが、「お客さまとの取引機会の最大化」の取り組み、「お客さまのニーズにあわせた提案型営業による付加価値販売」の定着によりその影響を最小限に留めたことに加え、昨年 8 月発売の新型セレナ・11 月発売の新型ノートの新型車効果により、当該車種の販売台数が大きく伸張した結果、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益ともに予想値を上回る結果となりました。

詳細は、本日公表しております「平成 29 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

2. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想	前年実績
基準日	平成 29 年 3 月 31 日	同左	平成 28 年 3 月 31 日
1 株当たり配当金	8 円 0 0 銭	7 円 0 0 銭	7 円 0 0 銭
配当金総額	532 百万円	—	466 百万円
効力発生日	平成 29 年 6 月 21 日	—	平成 28 年 6 月 24 日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を行うことを経営の重要課題のひとつと認識し、成長性を確保するための内部留保にも考慮しながら、安定的な配当を行うことを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、連結業績が増収増益となり予想値を上回ったことや配当性向等を勘案し、1株当たり7円としておりました期末配当を1株当たり8円とさせていただくことといたします。

なお、本件は平成29年6月20日開催予定の当社第105回定時株主総会に付議する予定であります。

以 上